

社会学・批評ご担当者様



〒101-0051  
東京都千代田区神田神保町1-11  
TEL: 03-3518-4940  
★は5000部、☆は1000部です。

FAX: 03-3518-4944

配本申込み×切 3月1日

広告出稿予定

朝日新聞  
沖縄タイムス  
琉球新報

貴店印

ご担当 様

## 意欲的沖縄文学論2点同時刊行!

# 眼の奥に突き立てられた 言葉の銚

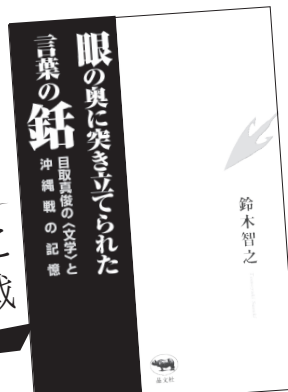
日取真俊の〈文学〉と沖縄戦の記憶

鈴木智之 著

沖縄出身の芥川賞作家・目取真俊の初期短編小説から最近の長編である『眼の奥の森』までにいたる諸作品の「社会批評的読解」という新たな試み。

◇著者プロフィール  
1962年生まれ。社会学者。法政大学社会学部教授。  
著書に『村上春樹と物語の条件』(青弓社)。共著に『失われざる十年の記憶』(青弓社)、『ケアとサポート社会学』(法政大学出版局)など。

文化社会学者が見た  
目取真俊文学と沖縄戦



# 不穏でユーモラスなアイコンたち

大城立裕の文学と〈沖縄〉

武山梅乗 著

ポリフォニックなテキストとしての大城文学。  
そこから見えてくる真の沖縄の姿とは――

「カクテル・パーティー」により沖縄初の芥川賞作家となった大城文学を、デビュー前の習作から近作まで読み解いた意欲作。物語に不穏な空気を醸し出すキャラクター＝「不穏でユーモラスなアイコンたち」を起点にした新しい沖縄文学論。

◇著者プロフィール  
1968年生まれ。駒澤大学文学部非常勤講師。共著に『社会学の扉をノックする』(学文社)、『戦後・小説・沖縄』(鼎書房)など。



### 新刊委託申込書

お申込み冊数	お申込み冊数
冊	冊
<p>【沖縄・社会学批評】 四六判 / 228頁 / 定価2100(本体2000)円 ISBN 978-4-7949-6799-2 C0095</p> <p>☆</p>	<p>【沖繩・社会学批評】 四六判 / 212頁 / 定価2100(本体2000)円 ISBN 978-4-7949-6798-5 C0095</p> <p>☆</p>

不穏でユーモラスなアイコンたち  
大城立裕の文学と〈沖縄〉

眼の奥に突き立てられた言葉の銚  
目取真俊の〈文学〉と沖縄戦の記憶

晶文社 営業部

TEL 03-3518-4940